

第2期吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会

意見書

1 第2期吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標1 「地域力」を活かした、誰もが安心して暮らせるまち

- ◆通学エリアの交通安全対策が可視化されており、引き続き取り組みたい。
- ◆通学バスについて、駒寄地区での運用も検討されたい。
- ◆自治会・育成会等の加入率が減少傾向にあり、地域コミュニティの希薄さを感じるため、住民が一堂に会せるような交流の場づくりに取り組まれたい。
- ◆交流の場づくりについて、やる気のある方・企業・学生・地域おこし協力隊などと連携・協力もしくは活用し、創意工夫に取り組まれたい。

公共交通利便性向上に関する実証実験等取組事業数

- ◆タクシーの利用助成について、現在行っているニーズ調査の結果を活用し、今後の施策について検討されたい。

消防団員の充足率

- ◆他市町村で団員増加のための取組としてSNSの活用に注力しているため、参考とされたい。

マイナンバーカードを利用した諸政策の実施

- ◆手続きの複雑さや情報管理にかかる不安など、マイナンバーカードユーザーが抱える懸念点をケアしながら、普及・利活用の推進に努められたい。

基本目標2 一人ひとりが輝き、生き生きと暮らせるまち

- ◆地域福祉交流について、町の施設だけでなく、民間事業者と連携するなどして他の拠点づくりに取り組まれたい。
- ◆子育てサポートやタクシーの配車依頼など、アプリ等で気軽に依頼できる仕組みが求められることが考えられるため、研究を進められたい。
- ◆ICT教育について、学校やクラスにより教育に差が出ないよう、教員への研修や教育体制の構築に取り組まれたい。

学童クラブの定員

- ◆他市町村では、長期休業期間中に「子どもの居場所づくり事業」と称して朝

から夜まで子どもを預かる体制を構築しているところもある。そういう事業にかかる人員確保などについて研究を深められたい。

地域福祉交流拠点施設利用者数

◆KPIの設定について、「地域福祉交流拠点施設」という言葉からすると多くの施設が連想されるため、表現方法について検討されたい。

基本目標3 地域資源を活かした産業や交流を応援するまち

◆町の事業や情報の周知が足りていないと感じる部分があるため、庁内で連携しながら、公式LINE以外にもInstagram等のSNS活用について検討されたい。
 ◆オリジナル商品の作成やブランド構築が町の商業活性化に繋がると思われるため、町のマスコットキャラクター作成等について検討されたい。
 ◆広報やHP等で住民からのご意見への回答などがあると、町の取組姿勢が住民に伝わって良いのではないか。

町公式SNSのフォロワー数

◆町公式LINEをより多くの方に興味を持って見ていただけるよう、配信内容やデザインについて検討されたい。

2 地方創生推進交付金

吉岡町小規模事業者販路開拓等支援事業

◆子育て世代など若い世代が増えていることもあり、多様な事業開拓が想定される。商工会等と連携し、より積極的に事業推進と交付金活用に取り組まれたい。

3 企業版ふるさと納税

◆吉岡町内に進出している企業や群馬県出身の社長など、働きかけられる先はいくつか考えられるため、積極的に声掛けや制度周知に取り組まれたい。
 ◆9割の減税になるとはいえ、1割は寄付企業の持ち出しとなる。例えば感謝状など、形が残るものがあると寄付企業さんにも喜んでいただけることもあるため、感謝状の贈呈等について検討されたい。

4 デジタル田園都市国家構想推進交付金

デジタル技術を活用した行政手続きの利便性向上事業

- ①役場窓口のキャッシュレス化及びセミセルフ化
- ②Web 口振受付サービスの導入
- ③マルチコピー機の導入による一部窓口の書かない化

- ◆現金の取扱いにかかるヒューマンエラーを回避するためにも、機械化を積極的に進められたい。
- ◆多様な支払い方法を提供することにより、より多くの方に各種税金や公金をお支払いしていただけると考えられるため、今後も様々な決済方法の導入に取り組まれたい。

議事録公開促進事業

- ◆KPI の議事録公開数について、ランニングコスト約 100 万円をかけて議事録を 2 件しか公開していないように見えてしまうため、実績の数え方・積み上げ方について検討されたい。

共通

- ◆職員の負担軽減・人件費削減については、ひいては住民サービスの向上に繋がるため、引き続きデジタル機械・システムの導入を進められたい。
- ◆KPI の利用者満足度等のアンケートが集計できていないため、利用者に直接お声掛けしたり、公式 LINE ・ 広報等各種媒体を使ったりなどして、確実に数値を取れるよう取り組まれたい。